

24人に決まる

今回の市議会議員選挙は、法定定数の上限数である26人と、合併協議会で決定していました。しかし、人口の減少が著しく、財政も非常に厳しい本市にあつて、「26人のままでいいのか」との意見もあり、行財政改革推進特別委員会などで論議した結果、本定例会で、議員定数を24人とする条例制定が、議員発議で提出されました。

《賛成討論》

。厳しい財政の中、職員を減らす以上、議員定数も減らすべき。

。人口比率から、上限数の26人では、市民の理解が得られない。

《反対討論》

。地域の声が行政に届かない。

。市の面積を考えると、26人でもいいのではないか。

など、賛否両論の中、採決の結果、16対14で可決しました。

平成20年6月16日



全員協議会

三重高校跡地活用における 使用貸借契約

「閉校となる三重高校の土地建物を県より購入し、利用希望のある学校法人に貸し付ける計画である。その利用により、経済効果及び社会的効果が見込まれ、地域の活性化に寄与するものである。」という説明のもと、平成20年3月定例会において、三重高校跡地活用事業費として3億6267万円が計上されました。

協議会では、市と学校法人後藤学園（藤華医療技術専門学校など）との、市有財産使用貸借契約書の内容が示されました。

議会としての意見を申し述べ、契約内容については、慎重を期すよう指摘したところです。

一般会計補正予算

1億876万9千円

を追加

総額 252億3,876万9千円



コミュニティーセンターとして生まれ変わります。(大野町中土師)

平成20年6月定例会は、6月6日から18日まで13日間の会期で開催されました。公社の経営状況など報告6件があり、「豊後大野市企業立地促進条例の一部改正について」「平成20年度豊後大野市一般会計補正予算（第1

号）」や、「人権擁護委員の推薦について」など8件、その他、請願・陳情4件、発議3件を審議しました。その結果、請願・陳情それぞれ1件を不採択とし、それ以外は、いずれも可決しました。

◆農業施設管理費

大野北部農村婦人の家
改修工事

1314万円

改修工事

1228万5千円

設計管理委託料

85万5千円

◆畜産業振興費

安全・安心飼料増産対策
コントラクター事業

1262万8千円

飼料価格高騰対策として、飼料（トウモロコシ）生産に必要な飼料調整用機械整備（購入）に対する、市農林業公社への補助。

請願

米価の安定対策を求める請願

採択

「後期高齢者医療制度の廃止と高齢者にとってより良い医療制度確立のための見直し」を求める意見書採択の請願

不採択

陳情

要望書

「中山間地域総合整備事業（生態系保全施設）」地元負担金の軽減について

採択

要望書

市道「伏野新田線・久原柳瀬線」整備促進について

不採択

庁舎建設計画

新庁舎建設計画は、必要性、財政面、市民合意を得るための取り組み（まちづくり委員会・自治委員会・市民への説明会）について説明がありました。

市民への説明が終わった後に、基本設計委託料などの補正予算を提案したいとの考えが示されました。

議員から「庁舎建設は時期尚早。」「必要性については理解するが、市民にしっかりと説明責任を果たすべき。」「高齢者や子どもたちのために、予算を掛けるべき。」「新庁舎は必要ない。現有する支所など、市有財産を有効活用すべき。」など、多くの質疑や意見が出されました。